

# 子どもの権利条約フォーラム2010 in みやぎ報告書

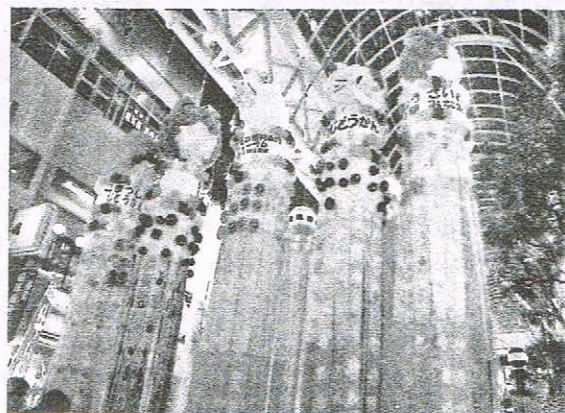
2010年11月13・14日 仙台市青年文化センターにて開催

2011年11月8日発行

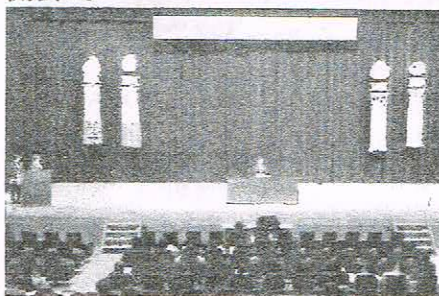
子どもの権利条約フォーラム2010 in みやぎ実行委員会

子どもの権利条約フォーラム2010 in みやぎ開催に際しては、大変お世話になりました。フォーラム終了後、全国から集ってくださった皆さんの熱気を感じながら、今後の課題などに思いをはせておりましたところ、3月11日に東日本大震災が発生しました。天地がひっくり返るとはまさしくこのようなことなのでしょう、私たちの日常は大きく変わってしまいました。

しかし、震災から8ヶ月目を前にして、少し落ち着いてみれば、震災前のもあった問題が、震災によって際立っただけで、私たちの進む道は変わっていないことに気づかされました。フォーラムの概要をとりあえずまとめることしかできませんでしたが、フォーラムで得たことを生かして、全国の皆さんの励ましを胸に、目の前の子どもたちに向き合っていきたいと思えます。



## 開会式



2日間の参加者 のべ1606人  
呼びかけ人61人 実行委員136人  
実行委員会参加団体23団体  
協賛企業15社 協力高等学校5校

## 基調報告

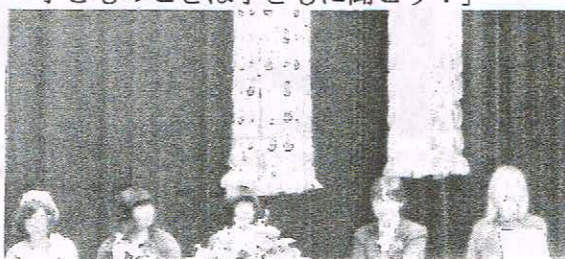
「子どもの権利条約をどう生かすかー  
国内外の条約をめぐる動きをふまえて」



子どもの権利条約ネットワーク代表  
早稲田大学教授 喜多明人

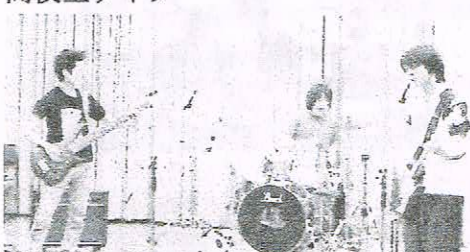
## シンポジウム

「子どものことは子どもに聞こう！」



シンポジスト  
高校生  
千葉柚子・大平和・大井綾香・池川彩夏・高橋清彩  
コーディネーター 宮城教育大学教授 関口博久

## 高校生ライブ



高校生漫才「マイブーム」東北高校音楽部  
バンド演奏「税込378円」「FTN」

## 子どもひろば



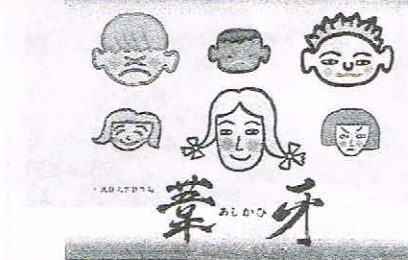
子どもフリマ



あそびのコーナー



そらとぶクレヨンコンサート



葦牙上映 4回実施



子どもカフェ



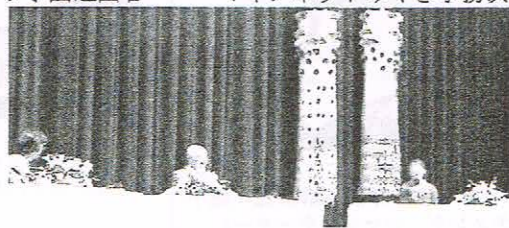
早稲田ゼミ  
ワークショップ

あきらちゃんラーメンちゃんあそびうたコンサート  
300人ほどの親子が楽しみました。



## 虐待防止シンポジウム

社会福祉法人岩手愛児会会長・児童養護施設みちのくみどり学園園長 藤澤昇  
みちのくみどり学園退園者 キャブネットみやぎ事務次長 鈴木俊博



プレ企画

2010年 4月11日(日) 仙台市シルバーセンター  
 シンポジウム「子どもの権利条約はなぜ必要なのか—そして私たちは何をなすべきなのか」 参加 146名  
 講師 喜多明人、荒牧重人、森田明彦、小林純子

2010年 7月4日(日) 戦災復興記念館  
 講演会「子どもの『参画』について—『参加』と『参画』はどう違うの?」 参加 32名  
 講師 喜多明人

準備会 2009年 5回開催 実行委員会 8回実施

フォーラムの成果

子どもに関わるおとなのネットワークが広がった  
 子どもの声を聴くことの大切さ・子どもの権利条約を知る大人が増えた

2011年3月11日 東日本大震災発生!!

4月6日 災害子ども支援ネットワークみやぎ 設立  
 被災地の子ども支援を開始 現在約80人・団体が登録。

震災後8か月たった、現在の子どもの状況

死亡した子どもの数は岩手県103人、宮城県430人、福島県81人(文部科学省7月21日現在)  
 宮城県の震災孤児:126人、震災遺児:712人(宮城県10月20日現在)

家がない子どもたち	避難所数16か所、避難者230人(10月19日現在) 仮設住宅(400団地、22043戸建設・10月11日現在)に入っている子どもの数は把握されていない。→プライバシーがない・勉強スペースがない・大人の話が筒抜け
食事の不足	避難所から仮設・みなし仮設へ→支援物資の停止・食糧不足 給食センター復活せず→栄養状態が懸念される
学校のスペース不足 遠距離通学	1校に複数校→ストレス・遠距離通学による疲労 校庭に仮設住宅→体育の事業・部活動に支障→体力低下が懸念
学校備品の不足	自治体の機能低下・教育予算の節減、執行停止
あそび場の不足	がれきで遊べない、学校・公園に仮設→ストレス
幼稚園・保育園・学童不足	施設崩壊・職員離散・法人の経営撤退→復興の若い担い手失う
将来の不安	就職先喪失→希望を失う→不登校・非行
健康被害の不安	がれきの中のアスベスト・感染症・放射能
いじめ・差別の発生	転校・複数校合同・仮設住宅への偏見
心的外傷	長引く災害ごっこ(地震ごっこ・津波ごっこ・死体ごっこ) 過呼吸・不登校
放置	安全なはずの仮設住宅の中の盲点(インターネット使い放題・性被害の発生など)

もっともっと連携を! そして子どもたちの心と体の回復を!

震災前も震災後も、必要なのは 長く切れ目のない横断的な支え 当事者のエンパワメント

今後も下記のような活動を続けていきます。どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

1. 心のケア(チャイルドラインカード配布など)
2. 物資支援(生活物資・学校備品・部活動楽器など)
3. イベント支援(学校公演復活・人形劇公演など)
4. 学習支援(学校へ学習支援ボランティア派遣)
5. 支援者対象講座(心のケア・子育て応援キャラバン・支援員研修など)
6. 就労支援(託児室開設・ひとり親支援など)

<災害子ども支援ネットワークみやぎ概要>

連絡先 〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5スカイハイツ202  
 TEL&FAX 022-279-7239 メールアドレス saigai\_kodomo@yahoo.co.jp  
 URL <http://saigai-kodomo.org/> ブログ [http://blogs.yahoo.co.jp/saigai\\_kodomo](http://blogs.yahoo.co.jp/saigai_kodomo)  
 代表世話人 小林純子 070-5475-7819

\*募金振込口座\* 名称はいずれも「災害子ども支援ネットワークみやぎ」

1. 郵便振替口座 02240-3-125954
2. ゆうちょ銀行 店名229 店番229 当座 0125954



①子どもの声を聴かせて全国キャラバン  
シンポジスト

新田新一郎 (アトリエ自遊楽校)  
北村志津枝 (元養護教諭)  
根本暁生 (海岸公園冒険ひろばプレーリーダー)  
津田知子 (セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)



②国際理解講座 Hi5!(ハイファイブ)  
講師 西口祐子  
(セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)



③⑥子どもクッキング  
講師 佐藤京子  
(仙台市地域活動栄養士会)



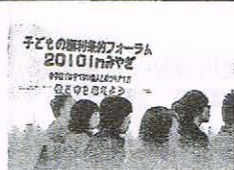
④子どものキモチを引き出すコツ  
～子ども参加ファシリテーター入門ワークショップ～  
講師 林大介 (子どもの参加ファシリテーター・子どもの権利条約ネットワーク運営委員)



⑤表現アートで学ぶ子どもの権利条約—  
動いて感じて身に付けよう  
講師 森田明彦 (尚網学院大学教授)



⑦子どもの権利条約をつくらう  
講師  
宮城県保健福祉部子育て支援課  
子育て政策専門監 坂内玲子  
宮城県石巻市福祉部子育て支援課  
課長 近藤順一  
子どもの権利条約ネットワーク代表、  
早稲田大学教授 喜多明人  
特定非営利活動法人  
チャイルドラインみやぎ理事 米倉正子



⑧課外授業  
学校では学べない恋人とのツキアイ方—  
性と命を考えよう  
講師 八幡悦子  
(思春期保健相談員・ハーティ仙台代表)



⑨不登校・ひきこもりの現状と支援について考える  
講師  
野口修司 末崎裕康 駒場優子 (メンタル・コミュニケーション・リサーチメンバー) 布施龍一 (フェアトレード東北代表) 若島孔文 (東北大学大学院教育学研究科准教授)



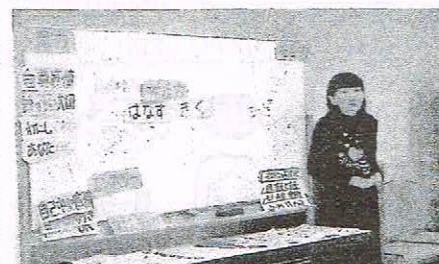
⑩罪を犯した少年にも弁護士を  
～少年たちに寄り添い支える大人達の挑戦



⑫親が変わる、教師が変わる、それが出発点—  
始めよう！勇気づけのアドラー心理学育児—  
講師 澤田裕子 (アドラー心理学カウンセラー)



⑬乳幼児の権利って何だろう？  
ワールドカフェで、みんなで考えてみませんか。



⑭ぼ～っとする権利？  
～子どもの自尊感情を育む～  
講師 金香百合  
(HEAL ホリスティック教育実践研究所長)



⑮スター・ペアレンティング  
～叩かず甘やかさず子育てする方法～講師佐々禮子  
(スター・ペアレンティング ファシリテーター)



⑯高校生の考える子どもの権利！  
ティーン・パワー サポート  
高校生実行委員会

託児室



一時預かり団体の協力で実現

交流会



児童館の子どもたちのYOSAKOI



おとなと子どもが歓談



ベガッ太も参加



おやつ食べ放題でうれしい!

福祉ショップ



たくさんのご利用  
ありがとうございました!

子ども記者作成の新聞 2日間で3号発行



プロの新聞記者のレクチャーを受けて作成しました。

<フォーラムを終えてのまとめ>

乳幼児の声にならない声も、  
発言する子どもの声も、  
胸の中にあるまだ語れない、  
子どもの声も  
みんなどれも大切

ありのままの自分でいい  
生きていていい存在だと思えたらいいね

自分大切にされていい「権利」が  
あることをみんなが知れたらいいね

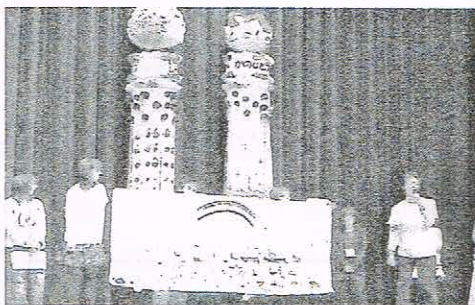
権利が侵害されたときにSOSできる  
場所がたくさんあったらいいね

安心していられる場所が  
たくさんあったらいいね

信頼できる大人が  
そばにいてくれたらいいね

こんなことが実現できるように、おとなと  
子どもと一緒に取り組んでいこう!

閉会式



早稲田ゼミ・CRC伊達ぶりっじの皆さんが子どもの声を発表



活躍した子どもたちが感想などを発表

ありがとうございました!!

メッセージをお寄せくださった皆様：内閣府特命担当大臣岡崎トミ子様 宮城県知事村井嘉浩様 仙台市長奥山恵美子様  
子ども記者取材協力：河北新報社 松田様 矢島様  
呼びかけ人の皆様：61人 協賛企業：15社 協力高等学校：5校 後援：45団体・機関  
助成：みやぎNPO夢ファンド みやぎ生協こ〜おほっとわ〜く基金（子どもひろば）  
その他多方面で多くの方々のお世話になりました。本当にありがとうございました。

実行委員会構成

実行委員長 小林純子 副実行委員長 関口博久 佐々子禮子 喜多明人  
実行委員136人 実行委員会参加団体23団体 ボランティア38人  
事務局 〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5 スカイハイツ102